



6～7月に市内で行われたイベントなどについてお知らせします

青いケシと獅子舞の奉納

6月2日(日)、ヒマラヤの青いケシが満開となった上三依水生植物園に、カメラを手にした大勢の来場者が訪れました。また、園内の熊野堂神社へ「関白流みより獅子舞」を保存会が奉納。笛と太鼓の軽快なリズムに合わせ、3頭の獅子が勇壮に舞う姿に、来場者から大きな拍手が送られました。



「みより舞」などを奉納上演

日光カンマーコール演奏会2019

6月23日(日)、女声合唱団日光カンマーコール演奏会が今市文化会館大ホールで開催されました。

3階席まで満席となった今回は、「上を向いて歩こう」などの名曲の他、二宮尊徳の生涯をつづった新作初演の組曲「二宮尊徳(自他祝福に生きる)」が安西悠子さんの語りを交え披露され、会場は温かい拍手に包まれました。



指揮・音楽監督のしもじゆうき 宇起さん



結成7年目、仲間との練習の成果を披露



二宮尊徳の語りベ 安西悠子さん

千手ヶ浜のクリンソウ

6月中旬、中禅寺湖の西岸、千手ヶ浜周辺に咲くクリンソウが見頃を迎えました。

クリンソウはサクラソウ科の多年草で、白、ピンク、紫などの美しい花が数段に重なって咲く様子が仏閣などの屋根にある「九輪」に似ていることが、名前の由来といわれています。

6月20日(木)は平日にもかかわらず



水辺で可憐に咲くクリンソウ



湖畔ならではの湿潤な環境に群生

らず、多くの観光客がクリンソウを目当てに、ハイキングや低公害バス、遊覧船で千手ヶ浜を訪れていました。水戸市の岡田さんは「今年は昨年よりも花が小さいようですが、とてもかわいいですね。クリンソウの周りを歩くのはとても気持ちがいいです」とカメラ片手に話してくれました。

まちづくり懇話会

6月22日(土)から30日(日)にかけて、市内9地域・地区で、まちづくり懇話会を開催しました。

市民の皆さんが自分たちの住む地域のまちづくりの課題について、協働のまちづくりの視点で、市長、副市長、教育長および各部長などと意見交換をしました。9地域・地区全体で120名の参加がありました。



22日(土)に開催した豊岡地区



台南市が表敬訪問



市内の中学生・高校生がお出迎え

7月4日(木)、海外観光友好都市台南市(台湾)の王時思副市長他3名が日光市役所を訪れました。

台南市と日光市は、観光客の誘客を主な目的に、平成21年1月16日に観光友好都市の盟約を結び、今年で10周年を迎えました。

平成23年の東日本大震災後には台南市から日光市へ、平成28年の台湾南部地震後には日光市から台南市へ相互に市民訪問団(市民号)を派遣するなど、交流を深めており、現在は台南市をはじめとした台湾から年間2万人を超える宿泊客が日光市を訪れています。

王副市長は友好都市10周年の記念品を大嶋市長に贈り、「以前から日光市を訪れることを熱望していました。日光市の皆さんが台南市に来た際は、手厚く歓迎しますので、ぜひ遊びに来てください」と話し、さらなる交流の促進を約束しました。



台南市から贈られた飾り皿



王時思副市長



平成28年度の日光市からの訪問団



そばとそばガレットを食べる子どもたち



緑がかった爽やかな風味の夏そば



ブースに並ぶそばの愛好家

6月29日(土)・30日(日)、「日本一早い新そば 日光夏の新そばまつり」が日光だいや川公園で開催されました。夏そばは、4月に種をまき、完全に熟成する前に収穫するため、緑色が強いのが特徴です。

30日は、市内のそば店など4店舗が出店。小雨が降るあいにくの空模様にもかかわらず、家族連れなど多くの来場者がありました。毎年楽しみにしているという、小松さん夫妻(矢板市)は「11月のそばまつりもいいが、夏そばの清涼感は癖になるおいしさ。また来年も来ます」と満足そうに話してくれました。

日光夏の新そばまつり



日光あーとさんぽ

6月30日(日)、第1回日光あーとさんぽが開催されました。小杉放菴記念日光美術館の展覧会の鑑賞から始まり、毎年6月に開催されているキリフリ谷の藝術祭の出展の中から5つの会場をバスで巡り、さまざまなジャンルのアートに触れる1日になりました。所野のワンプレートでは、氷を使った不思議な形状のロウソク「アイス



迫内学芸員(左)の分かりやすい解説を聞きながら展覧会を鑑賞



質問に答える画家の香川大介さん



童画家、やないふみえさんの作品「Garden」を飾りつける参加者



「ロウソク作り、楽しくできたよ」と南原小1年の須藤悠介くんとお母さん

キャンドル」製作を体験。参加者19名の個性が光る、形も色も違うロウソクが完成しました。